

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 30 号
R 8. 07. 07
公益社団法人自衛隊家族会
事務局長 阿部 知己

令和 8 年 7 月「月 報」

1 はじめに

6 月 16 日、令和 8 年度定期総会、第 2 回理事会、自衛隊家族会創立 50 周年記念行事を行い、滞りなく終了いたしました。皆様のご指導ご協力に御礼申し上げます。

それに先立つ 6 月 10 日、増田会長は岩崎隊友会理事長とともに小泉大臣を訪ね、隊員の家族のための施策について数項目にわたり提言を行いました。

大臣からは前向きなお話をいただき、そのいくつかは、50 周年の祝賀会でいただいた大臣のご祝辞をはじめ、その後の官側の検討等に反映されております。



自衛隊家族会の定款の「目的」にある、「自衛隊に対する協力・支援」に「隊員の家族に対する協力・支援」を加えたところ、次の 50 年に向かってますます充実した活動をして参りましょう。



募集協力強調期間の前半が始まります。例年ご尽力いただいておりますが、地道な活動が防衛基盤たる人材の確保に極めて重要なことはご理解いただいている通りです。

処遇が大きく改善されていることを、募集対象者のみならず、そのご家族にも理解していただき、より多くの適格者に入隊していただけることを願っています。

各自衛隊地方協力本部との連携をよろしくお願いします。

2 防衛省・自衛隊の活動

6 月 20 日から 30 日の間、陸上自衛隊は令和 8 年度米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン 26）を実施しました。この訓練は、陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊がそれぞれの指揮系統に従い、共同して作戦する際の相互連携要領を実行動により演練し、

日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図ることを目的に、西部方面総監鳥海陸将を担任官として大分県、佐賀県、鹿児島県、沖縄県にわたり、西部方面隊、陸上総隊、北部方面隊、東部方面隊、中部方面隊、補給本部、富士学校、航空学校等に自衛隊海上輸送群が参加しました。（写真は陸上自衛隊 X より）



3 家族会の活動

(1) 令和8年度定期総会、理事会、表彰（6月16日）

○ 定期総会：議長：野呂青森県家族会長

ア 議案

第1号議案：令和7年度事業報告

第2号議案：令和7年度収支計算書
及び「監査報告書」

第3号議案：定款の変更

第4号議案：役員改選

【全ての議案が可決されました。】

イ 報告

報告1：令和8年度事業計画

報告2：令和8年度分担金

報告3：令和8年度収支予算書

報告4：令和8年度資金調達及び設備投資の見込み

報告5：家族支援に対する協力に関する協定について

○ 第2回理事会

ア 議案

第1号議案：代表理事の選任 増田好平現代表理事を選任しました。（重任）

第2号議案：業務執行理事の選任

下表のように、業務執行理事を選任しました。（敬称略）

田浦 正人	総括	重任	森山 尚直	広報	重任
阿部 知己	総務・事業	重任	荒木 淳一	基盤強化施策 甲	重任
中村 裕亮	家族支援協力	新任	高田 克樹	基盤強化施策 乙	重任
鍛冶 雅和	会勢	重任	小泉 秀充	財務	重任

第3号議案：副会長の選任

大宮副会長、宮下副会長の
退任に伴い、右の表のように
副会長を選任しました。
（敬称略）

金花 芳則	新任	
福岡 絢子	重任	
荒木 肇	重任	
田浦 正人	新任	業務執行理事

第4号議案：県家族会長人事

埼玉県、大阪府各家族会の選出に基づき、それぞれ、新会長を決議しました。

	退任会長	新任会長
埼玉県家族会長	斎須 勝位	草野 光子
大阪府家族会長	松永 信夫	原田 文壽

（敬称略）

（公社）自衛隊家族会創立50周年式典



議長

野呂青森県会長

第5号議案：事務局長の承認

阿部事務局長が引き続き事務局長として承認されました。

イ 報告：代表理事及び業務執行理事の報告

○ 表彰

団体表彰として、東京都、栃木県、神奈川県等 13 県等自衛隊家族会を表彰しました。

また、退任する理事、前県等会長を表彰し、それぞれ永年の労に感謝を表しました。

ア 団体表彰

○総合表彰

*最優秀賞：東京都自衛隊家族会

*優秀賞：栃木県自衛隊家族会、神奈川県自衛隊家族会

○活動表彰（以下〇〇県自衛隊家族会を〇〇県と略）

*会勢拡大優秀賞：山形県、富山県

*おやばと購読優秀賞：道北、福島県、長野県、和歌山県、高知県

*家族支援協力活動優秀賞：兵庫県

*防衛講演会優秀賞：岐阜県、広島県、東京都

*北方領土返還署名活動優秀賞：栃木県

*募集協力活動優秀賞：石川県

*援護協力活動優秀賞：岐阜県

- イ 個人表彰
- *前副会長：大宮英明 様
 - *前理事（元副会長）：宗像久男 様
 - *前理事：湯浅悟朗 様
 - *前埼玉県会長：斎須勝位 様
 - *前大阪府会長：松永信夫 様



(2) 感謝状贈呈式（6月16日）

自衛隊家族会創立50周年にあたり、長年にわたり特にお世話になっている防塵賛助会員等に感謝状を受けていただきました。（敬称は略させていただきます。）

- ア 法人等：三菱電機株式会社、
三菱重工株式会社、
川崎重工株式会社、
日本生命保険相互会社
株式会社タイユウ・サービス、
昭島ガス株式会社、
サンケイ総合印刷株式会社、
TOPPAN 株式会社、
株式会社朝雲新聞社
一般財団法人穴見保雄財団



イ 自衛隊各地方協力本部：

当日は、東京、埼玉、千葉、神奈川
各地方協力本部長にご出席いただきました。



ウ 防衛情報紙「おやばと」への執筆：（敬称略）

磯部晃一、榎 利風、茅原郁生、桜林美佐、
柴田純一、立花尊顕、田原義信、長岡千尋、
宗像久男、山田伊智郎、自衛隊中央病院

（３）５０周年式典（６月１６日）

宮崎政久防衛副大臣をはじめとするご来賓臨席の下、５０周年式典を開催しました。
増田会長の式辞の後、宮崎防衛副大臣、岩崎隊友会理事長からご祝辞をいただきました。

また、高市早苗内閣総理大臣からお祝いのメッセージをいただき、披露いたしました。
感謝状を受けていただいた方々の紹介に続いて、会員から歌詞を募集し、陸上自衛隊
中央音楽隊に作曲をお願いして作成した「自衛隊家族会の歌」の完成披露を行いました。

中央音楽隊の伴奏に乗せ、林１曹と小澤２曹が高らかに歌い上げた「自衛隊家族会の
歌」の下、力を合わせて活動していく思いを一つにしたところです。

※「自衛隊家族会の歌」は自衛隊家族会の Web で聴くことができます。



会長式辞



宮崎副大臣祝辞



岩崎理事長祝辞



「自衛隊家族会の歌」は
右の QR コードから読み取り
聴くことができます。



左の「歌詞付き」で覚え、 歌詞付き カラオケ
右の「カラオケ」を伴奏に唄ってください！

ご出席いただいたご来賓は次のとおりです。

防衛副大臣	衆議院議員	宮崎 政久	様
防衛大臣政務官	参議院議員	若林 洋平	様
防衛大臣政務官	衆議院議員	吉田 真次	様
統合幕僚長代理	総務部長	松浦 正裕	海将補
陸上幕僚長		荒井 正芳	陸将
海上幕僚長代理	海上幕僚副長	國見 泰寛	海将
航空幕僚長		森田 雄博	空将
防衛省	人事教育局長	廣瀬 律子	様
隊友会理事長		岩崎 茂	様
全国防衛協会連合会副会長兼理事長		島田 和夫	様
朝雲新聞社代表取締役社長		中島 貴広	様
自衛隊家族会顧問	衆議院議員	中谷 元	様
自衛隊家族会顧問	衆議院議員	橋本 幹彦	様
自衛隊家族会顧問	衆議院議員	高沢 一基	様
自衛隊家族会顧問衆議院議員中谷真一様代理		神園	様

エ 祝賀会（６月１６日）

小泉進次郎防衛大臣をはじめとする御来賓を加え、祝賀会を開催しました。

増田会長の挨拶の後、小泉防衛大臣、中谷家族会顧問からそれぞれお言葉をいただき、統合幕僚長内倉空将のご発声で乾杯、歓談となりました。「自衛隊家族会の歌」が流れる中、参加者はそれぞれに大臣をはじめ日頃お目にかかれない防衛省高官の方々との交流で中央のお話を伺い、また、現場の状況をお伝えする貴重な時間を過ごすことができました。また、歓談の合間に若林、吉田両防衛大臣政務官、鹿嶋、橋本、高沢各顧問が登壇され、５０周年のお祝いと新たな５０年への励ましの言葉をいただきました。



小泉大臣



中谷顧問



内倉統幕長



若林政務官



吉田政務官



高見顧問



鹿嶋顧問



橋本顧問



高沢顧問

祝賀会からご参加いただいた主な御来賓は次のとおりです。

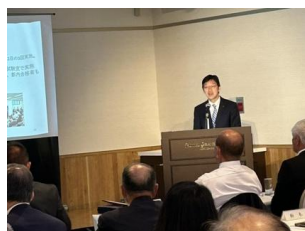
防衛大臣	衆議院議員	小泉 進次郎	様
防衛事務次官		大和 太郎	様
統合幕僚長		内倉 浩昭	空将
海上幕僚長		齋藤 聡	海将
政策立案総括審議官		坂本 大祐	様
防衛弘済会理事長		田原 義信	様
水交会理事長		村川 豊	様
防衛ホーム新聞社社長		吉田 佳子	様
陸修偕行社知事長代理		本庄 俊広	様
自衛隊中央病院長		鈴木 智史	様
陸上幕僚監部人事教育部長		牧野 雄三	陸将補
海上幕僚監部人事教育部長		清水 徹	海将補
海上幕僚監部総務部長		西山 高広	海将補
航空幕僚監部人事教育部長		尾山 正樹	空将補
自衛隊家族会顧問	衆議院議員	高見 康裕	様
自衛隊家族会顧問	衆議院議員	鹿嶋 雄介	様

ご紹介した他、多くの法人賛助会員の皆様にも祝っていただきました。

誠に有難うございました。

(2) 募集協力者会同

6月16日0900～1145の間、陸上幕僚監部主催の募集協力者会同に各県代表が参加しました。冒頭、陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課長 池戸1佐のご挨拶に始まり、内局、陸・海・空各幕僚監部の施策の



説明を受けたのち、自衛隊家族会を代表して宮城県、神奈川県で「募集協力活動における創意工夫」をテーマに、現場の状況とそれをいかに打開して募集～入隊につなげているかを発表しました。

自衛官等の採用が3年ぶりに1万人を超えたとはいえ、募集環境の厳しさは変わりなく、引き続きの努力が重要であるとの認識を共有しました。



(3) 家族会活動トピック

ア 隊員の激励

6月7日、福山市自衛隊家族会は、第46普通科連隊（海田市駐屯地）自衛官候補生の25km徒歩行進訓練を、福山防衛協会、広島県隊友会、自衛隊福山地区募集協力会、ピースクラブ、ライオンズクラブ等県内自衛隊を応援する団体とともに激励しました。女性隊員7名を含む47名の自衛官候補生は、降りしきる雨の中を黙々と行進し、激励に駆け付けたご家族は我が子の成長を実感し、感激しておられました。



渡邊福山市会長が日の丸で激励



行進開始



水分補給



激励に集まった御家族



行進完遂



御家族との語らい

イ 摩文仁（まぶに）の丘 清掃ボランティア

6月13日、沖縄県自衛隊家族会は摩文仁の丘清掃ボランティアに参加しました。例年は蒸し暑い中で行われていましたが、今年は曇りで肌寒い中での活動でした。

沖縄の陸海空自衛官、米軍、隊友会、防衛協会など約千人が参加し、上田和守沖縄県家族会副会長が古門会長の代理として慰霊の献花を行いました。



(6) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

令和8年6月の「問い合わせ」件数は、事務局で対応した2件であり、相談者は、1名が家族会会員、他の1名が非会員の方であり、いずれも“相談者や隊員に関する相談”のⅠ分類でした。

最初の問い合わせ内容は、隊員である御主人が“うつ病”となって現在休職中、御主人が上司から「私有車両の運転や外出を控える様にとという指導が有り、同じくうつ病である奥さんにも同様に謹慎的な生活をする様に言われた。」という奥様からの相談でした。

ご夫婦でうつ病という困難を抱え、御主人が休職状態に在り将来に対して大きな不安を感じていることと思います。その状況に対して上司が相応の年齢のご夫婦に対して「車の運転は止めろ」、「軽々に出歩くな」という様な指導、それも奥様にも同様のことを求められたというのであれば、「医師からは車の運転も差し支えない」旨の言を得ているという奥様からの話を含めて考えれば、行き過ぎた指導と言えると考えます。

ただし、上司はその様な発言をするとは常識的には考え難く、特に奥様の行動まで指図したということには疑問が有ります。奥さんも御主人からの口伝えでの内容であり、上司としては、うつ状態での突発的な事故等を心配しての言葉が、ナーバスになっているご主人がその様に受け止めたというのが本当のところではないかと思えます。

コーチングとしては、そのまま対峙する状況で上司との話を進めても「言った、言わない」の更なる不信の連鎖を生む可能性もあることから、状況に対して客観的かつ専門的な提言が可能な担当医官に、第三者として間を取り持ってもらい、部隊に対してご夫婦の現在の気持ちと病気の寛解に最も適切な方法を助言してもらうことが適当としました。

次の問い合わせは、3月に入隊した子息が上司からの厳しい指導により精神的に不安定になり、家族会会員である母親に退職意志を伝えているということでした。親御さんは、「志」を持って自衛隊に入隊した子息に対する部隊側のケアが不足しているとの不満を持っておられました。

経験上、一般的に自衛隊、国防に対して強いイメージを持って入隊された方ほど、自衛隊の現実と自己の能力不足や初めて入る大人社会等とのギャップにより早期に困惑の時機が訪れる様に小職は理解しています。ただし、その様な悩みは強弱の差や、時機の遅い早いはあるとしても誰でも通過することであり、更にそれは決して無駄なことではないと考えます。

大切な新入隊員という後輩が早く自衛隊での生活を理解し、そして馴染める様にお母様には、引き続き子息の話を聞き、家庭における心の支えとなって頂きたいとお願いしました。また、悩みを持っていることを部隊における母親である前任曹長に、ご子息自ら相談することを提案させて頂きました。

5月の連休後、本格的な訓練環境に初めて置かれたとき、「このまま自衛隊を続けるべきであろうか」という疑問は浮かぶものです。部隊の先輩達であれば、新入隊員のこの時期の心の揺らぎの発生は十分に理解しています。上級曹長への相談により良い方向に向かうことを願いつつも、部隊側の今後の対応に親御さんとして疑問が有れば、更なる問い合わせをして頂く様をお願いをして受話器を置きました。

現代は、“退職代行”なる仕事があり、“退職”という人生における大人としての大切な決断の処理を他者に委ねる時代です。それに対して、最も身近な存在である母親に退職意志の相談をされていることは健全な親子関係を維持されている証拠です。その様な親子関係への手助けが家族会として例え少しでもできればと考えます。

4 事務局からの連絡

新任会長・事務局長等研修会の予定

新たに各県家族会の会長・事務局長に就任された方々（以前研修を受けた方を除く）に、自衛隊家族会に係る理解を深めていただき、本部と県家族会との連携を密にして円滑に運営してゆくために「新任会長・事務局長等研修会」を10月上旬に実施する予定です（開催場所は調整中。）。該当の方及び該当の方が所属する県家族会長へは実施の細部を7月下旬にお知らせしますので、よろしくお願いします。

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長

航空幕僚監部人事教育部長、厚生課長、厚生班長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長